



2012-2013 年度 第 11 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：荒井健次 幹事：小林裕 会報委員長：田中正夫
例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ《水曜 12：30》
事務所：宇都宮市大通り 2-4-6（ホテルニューイタヤ）
TEL：028 - 635 - 5511（ホテルニューイタヤ）



通算 第 1499 号

2012 年 9 月 19 日



会員数 45 名 出席 37 名



司 会 関口隆 S. A. A

§ ローターリーソング「我らの生業」



ビジター紹介 坂井俊司 親睦・家族委員長

§ 青木 格次 様 第 2550 地区第 3 グループ B ガバナー補佐 (宇都宮東 RC)

§ 朴 美玉 さん (米山奨学生)



会長挨拶 荒井健次 会長

皆さんこんにちは。

青木ガバナー補佐、ようこそお越し下さいました。この後、卓話を戴きまして、引き続きクラブ協議会を開催する事になっておりますので、各委員会の委員長の皆様よろしくお願い致します。

9 月中旬に入り、秋らしくなってきましたが、今年はまだまだ暑い日が続いております。予報では 9 月末まで続くと言われておりますので、体調には気を付けて下さい。

尖閣諸島の問題がクローズアップされている中。中国では大手車産業や量販店が被害を受け、営業停止する報道が入っております。国会も速やかな対応をして戴きたいと思っております。先週 15 日に当クラブの阿久津均会員が、宇都宮市議会の副議長に就任され、祝賀会に出席して参りました。心からお祝い申し上げます。これからの宇都宮市のためにご尽力を戴きたいと思っております。



幹事報告 小林 裕 幹事

§ 米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。(回覧)

§ 9 月 23 日 (日) IM がホテルニューイタヤに於いて午後 2 時より開催されます。欠席で報告された方も都合が付き出席できる時には、奮ってご参加下さい。

§ 互理ロータリークラブとの奉仕活動、継続に向けて小委員会の配置について理事会を開催し、次の通りに決定致しました。

委員長 山本幹夫パスト会長 ・ 委員 田村一夫パスト会長 ・ 事務担当委員 関口隆会員



ロータリー基金委員会

田島久夫 リーダー

先週、米山記念奨学会に関するアンケートを配付させて頂きました。当日出席の方はご提出戴きましたが、欠席の方には事業所にFAXを送りました。ご回答がお済でない方は至急ご返信戴きたく、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



スマイルボックス委員会

山本幹夫 委員長

- § 荒井健次 会長 青木ガバナー補佐、ようこそお越し下さいました。クラブ協議会よろしくお願い致します。
- § 小林 裕 幹事 青木ガバナー補佐、クラブ協議会楽しく願います。
- § 坂井俊司 会員 本日は青木ガバナー補佐をお迎えしての例会になります。よろしくお願い致します。
- § 中野智之 会員 ガバナー補佐よろしくお願い致します。
- § 岩本一男 会員 ガバナー補佐訪問という事で、大変光栄でございますし、お疲れ様でございます。南ロータリークラブ、よろしくお願い致します。
- § 市原久典 会員 本日、ガバナー補佐が来て下さるにも関わらず、バッチを忘れてしまいました。反省してスマイルします。
- § 大野俊男 会員 ガバナー補佐訪問、ご苦労様です！皆様、良い事があるようにスマイルします。
- § 藤井康夫 会員 青木ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。今日はお手柔らかかに願います。
- § 村田宏明 会員 いつもお世話になっています。
- § 安齊誠一 会員 青木ガバナー補佐、本日はご苦労様です。よろしくお願い致します。
- § 鈴木秀明 会員 青木ガバナー補佐、ご苦労様です。
- § 田村一夫 会員 ガバナー補佐、本日はご苦労様です。
- § 笠原正人 会員 青木ガバナー補佐のクラブ協議会。委員長として返答に窮しそうです。お手柔らかかに伏して願います。補佐の来訪を記念してスマイルします。
- § 村上芳弘 会員 青木ガバナー補佐、心から歓迎申し上げます。
- § 仲田俊夫 会員 青木ガバナー補佐、よろしくお願い致します。
- § 平澤照隆 会員 本日、青木ガバナー補佐、ご苦労様です。
- § 山本幹夫 委員長 青木ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。
- § 田中正夫 会員 昨日、台湾から帰国しました。台湾は落ち着いていました。
- § 藤島 拓 会員 野球部の皆様、13日の練習お疲れ様でした。明日9月20日も練習がありますので、よろしくお願い致します！！
- § 菅野孝祠 会員 今月9月9日は私の誕生日でした。51歳、まだまだバリバリ頑張ります。
- § 塩田 潔 会員 いよいよ10月の第2550地区野球大会が近付いてきました。明日も練習があります。皆さん確実に進化しているので、楽しみです。野球部の皆さん頑張りました。
- § 喜内敏夫 会員 9月16日(日)は青森でローターアクトのアジア第1ゾーン代表者会議に当地区のローターアクト会長の内仲さんと参加して来ました。大変勉強になりました。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました。 今週の金額 23,000円



社会奉仕委員会報告 藤井康夫 委員長

§ 10月20日(土)移動例会として、スペシャルオリンピックス日本で制作した映画「幸せの太鼓を響かせて」の鑑賞会を社会奉仕委員会・新世代委員会・SAA合同で開催致します。詳細は後程、FAXにてお知らせ致します。



新世代委員会報告 喜内敏夫 委員長

§ 11月23・24・25日にライラセミナーが開催されます。18歳から30歳までの方のご推薦をよろしくお願い致します。(参加締切り10月末日)



奨学金支給

§ 米山奨学生 朴 美玉さんに奨学金の支給がございました。



ガバナー補佐卓話

国際ロータリー第2550地区 第3グループB

ガバナー補佐 青木 格次 様 (宇都宮東 RC)

本日は、10月3日(水)の鈴木ガバナー公式訪問に先立つ2週間前のガバナー補佐訪問として参りました。本日の私の役割は例会後に開催される協議会で、2012-2013年度のクラブ会長方針及びクラブの目標等をお伺いし、その内容を鈴木ガバナーにお伝えする事です。ガバナー公式訪問が皆様にとって有意義な結果が出せるようにお手伝いさせていただきますので、最後までご協力をよろしくお願い致します。



本来であればRIの目標や鈴木ガバナーの方針等をお話しようと思っておりましたが、内容を変え、例会出席の意義と日本のロータリークラブの歴史を重ね合わせてお話させていただきます。

ガバナーメッセージの中で、「ロータリーは週単位の生涯円環運動です」とあります。これは螺旋階段のように毎週同じ例会に出ているもいつの間にか自分も高い所にいる。いつの間にか成長しているという事です。

ロータリーで最も有名な言葉で「He profits most who serves best」最もよく奉仕する者は最大の功德ありとありますが、これに続き、「He profits most who attends most」例会に最もよく出席する者は最も報われるとあります。ロータリー卓話で「たらいの水」がありますが、たらいの水を飲もうと思ったら、たらいを向こうへ押さなければならない。たらいを引くと水は反対側へ行ってしまう。手前に引くのは利己主義・儲け主義で、向こうへ押すことがロータリーのサービス精神だと言っています。このような言葉がありますので、こういった事を踏まえながら言葉の意味を噛み締めたいと思います。例会の意味として「Enter to Learn, Go forth to Serve」入りて学び出でて奉仕せよ。一週間毎に例会に来て、色々な事を勉強し、実社会の中で実践して欲しい。ロータリーとしてまた例会としての存在意義を説いております。

日本のロータリークラブが出来たのは1920年(大正9年)、東京ロータリークラブが発足します。当時三井銀行の重役であった米山梅吉等が、東京都に日本初のロータリークラブを世界で855番目の認証クラブとして創立しました。東京ロータリークラブがダラスロータリークラブをスポンサーとしているのに対して、日本で第2番目に認証を受けた大阪ロータリークラブは国際ロータリーRI直轄で出来たクラブであり、親クラブを持たない本家クラブと呼ばれる日本唯一のロータリークラブです。テキサス州のダラスロータリークラブ会員であった福島喜三次が帰国後大阪に赴任し、星野行則とともに大正11年(1922年)11月1日に第一回の創立準備会を中之島大阪ホテルにて開催しました。その後チャーターメンバーを選び、クラブ細則原案を作り、大正11年(1922年)11月17日大阪ロータリークラブ創立総会を開きました。東京ロータリークラブは自分たちのロータリークラブを作るぞという熱い熱意で、大阪ロータリークラブは組織的事項的なクラブだと言われていました。

1920年(大正9年)東京ロータリークラブが発足してから現在までの約90年の歴史があります。この90年の歴史が大きく3つに分かれると言われていています。第1期は大正9年から昭和15年の20年間、この時期は思想哲学的な観点からロータリーを考え職業奉仕という言葉も出て参りました。商人の生き様等を理解しようとしていた時期です。ですからRIがとなえるような管理原則や手続要覧・要項・定款細則は殆ど無視しました。独立独歩・自立自治の精神に溢れ、自尊心が強いクラブでした。昭和8年頃から軍部の弾圧が強まる中、クラブを守る為に例会出席が100%だったそうです。正に例会が月に一度の人生の道場、自分達の生きざまを表す場所であったと言われております。

第2期、昭和15年日本のロータリークラブはRIから撤退します。そして昭和24年再開されますが、この9年間ロータリークラブの活動は非合法化されておりました。この時期のロータリアン達は自分の住まいや会社の会議室に集まり、名前も東京水曜会や神戸木曜会などとして継続して行きました。

第3期目は昭和26年で、戦争も終わり昭和24年RIからジョージ・ミーンズ局長がロータリークラブを再開させる為に来日します。各地を回り訪ねた所、名前を変えて継続していた事を知り、エバンスマイルトンの本部に報告し、日本のロータリークラブの継続性を保証して欲しいとの要望を出しました。即日日本のロータリークラブの復帰がRIから認められました。当時は、1地区でしたが、昭和27年より名古屋を境に西日本・東日本の2つの地区に分かれます。現在34地区となり2,292クラブ、会員数9万人余りです。そして週1回の例会出席を義務付けております。例会はロータリークラブの精神であり「例会出席なくして親睦なし、親睦なくして奉仕なし」という言葉があります。このように例会は大切であります。

例会は歌で始まります。第1例会での国歌斉唱は昭和6年京都ロータリークラブから始まりました。当時の愛国主義者の一団が乱入し、「ロータリークラブは敵国アメリカのスパイ活動ではないか」と言われ壇上に座り込まれます。時の京都ロータリークラブの会長は激論を戦わせ、「忠君愛国と言うならばその証を見せろ」と迫られます。「私達は天皇陛下の下で例会を開催している証として2つの事を行います。」と言って国旗掲揚と国歌斉唱を誓います。この話がすぐさま日本中のロータリークラブに伝わり、国旗掲揚と国歌斉唱がされるようになったと言われております。現在は行わないクラブもあると聞いております。

ロータリーソングの「奉仕の理想」は昭和10年当時の村田昭三ガバナーが「日本人の為のロータリーソングを作ろう」と日本中に激を飛ばしました。日本中から沢山の歌詞と曲が集まります。その中から選ばれたものが「奉仕の理想」でした。この歌の歌詞の中に「御国に捧げん・・・」とありますが、当初の原文は「世界に捧げん・・・」でした。村田昭三ガバナーが作詞した前田和一郎(元東京RC)に訂正をお願いしましたが受け付けてもらえなかったそうですが、ガバナーの意向に基づき現在まで歌われております。

「手に手つないで」は昭和 26 年矢野一郎(東京 RC)の作詞で、この年の地区大会は日本がまだ一つの地区だった最後の地区大会でした。大阪オリエンタルホテルに於いて開催され、翌年の地区大会は西日本と東日本に分かれてしまう事から、最後を締めるこの歌を歌い元気に別れようではないか、という熱い思いを込めて歌ったそうです。その後、全国のロータリークラブでは何かの会合が行われた最後にはこの歌を歌う慣例ができました。



クラブ協議会

各委員会 リーダー・委員長報告
ガバナー補佐指導指示



10月のプログラム

- 10月3日(水) ガバナー公式訪問 鈴木 宏ガバナー
- 10日(水) 外部卓話 下野新聞 藤井記者「私が見たロンドンオリンピック」
- 17日(水) 9月23日 IM 振替休会
- 20日(水) 移動例会 スペシャルオリンピックス制作映画鑑賞
「幸せの太鼓を響かせて」
- 24日(水) 米山アンケートについて 村上会員・田島会員
- 31日(水) 新入会員卓話 菊池会員・杉本会員

出席報告 中野智之 委員

会員数 45名 前々回 9月5日
出席数 37名 訂正率 78.57%
欠席数 8名
出席率 92.50%

次回例会

9月23日(日) 第2550地区第3グループ IM
9月26日(水) 夜間例会
第1500回 記念例会
新入会員歓迎会